



文部科学省委託事業

長寿社会における 生涯学習政策フォーラム2017

高齢者を中心とした多世代交流ネットワークの拡張：
大学をハブとした新たな社会基盤づくり

[日時] 平成29年12月24日<日>10:00~19:00

[場所] 東京大学 本郷キャンパス 赤門総合研究棟A200教室

丸ノ内線・大江戸線/本郷三丁目駅より徒歩8分 千代田線/湯島駅または根津駅より徒歩8分
南北線/東大前駅より徒歩1分 三田線/春日駅より徒歩10分

●会場の赤門総合研究棟は、赤門から入って右手[教育学部棟の正面]の建物です。

●主催者 東京大学大学院教育学研究科 社会教育学・生涯学習論研究室 ●問い合わせ先 03-5841-3974 [東京フォーラム事務局]

● 開催趣旨

高齢者の社会参加と多世代交流による新たな「まちづくり」

少子高齢・人口減少社会の到来をむかえ、年金をふくめた社会保障制度の維持困難や社会的活力の減衰といった悲観論が充満し、高齢者が「問題」とみなされる傾向が強くなっています。しかし反面で、基礎自治体さらにはその土台となるコミュニティに目を転じてみると、高齢者がいきいきと活躍し、他の世代と協働して、新たな社会基盤を形成している姿を見出すことができます。本フォーラムでは、「高齢者の社会参加と多世代交流による新たな社会基盤づくりの促進」をテーマとして、コミュニティとう「場」における「まちづくり」の実践事例から、現代の諸課題に対応する新たな社会像を構想することを趣旨とします。

● プログラム

[第1部] 成果報告 / パネルディスカッション 10:00～11:30

釧路市・富良野市・新居浜市のフォーラムの成果を報告するとともに、パネルディスカッションを開催し、高齢者の社会参画促進の効果・あり方を検討します。

- ・ファシリテータ: 牧野 篤 [東京大学教授]
- ・パネラー: 釧路フォーラム関係者 / 富良野フォーラム関係者 / 新居浜フォーラム 関係者
- ・コメンテータ: 文部科学省 社会教育課長

[第2部]

[1] グループ討議 12:30～17:00

各地の実践事例を紹介し、その事例について各グループに分かれ参加者で議論します。最後にグループで話し合った内容を全体で共有し、コミュニティを基盤とした新たな社会のあり方を検討します。

[G1: 高齢者と高校生がつくる新しいコミュニティ]

話題提供: 飯田市「地域人教育」関係者、「華齢なる音楽祭」関係者
※「華齢なる音楽祭」関係者によるパフォーマンス

[G2: 高齢者が主役の多世代交流型コミュニティの形成]

話題提供: 柏市高柳地区「多世代交流型コミュニティ実行委員会関係者」

[G3: 高齢者が学びあってつくる楽しいコミュニティ]

話題提供: 柏市豊四季台団地「くるる」セミナー関係者
※「くるる即興劇団」によるパフォーマンス

[G4: 高齢者の学びがつなぐ地域のネットワーク]

話題提供: 中野区「なかの生涯学習大学」修了生他関係者

[G5: 高齢者と子ども・若者の交流が生む信頼感ある社会]

話題提供: 世田谷区「岡さんのいえ TOMO」関係者

[2] 情報交換会・事業評価会議 17:30～19:00

※「柏おやじダンサーズ」によるパフォーマンス